

〈白の共演〉

相模原公園のハクモクレンが咲き始めた。まだ開き始めたばかりの花弁は汚れのない白無垢のようで青空によく映える。冬の間、固い蕾の中に小さく折り畳まれていた花弁が春の訪れとともにゆっくり開き始め、お日様に促されるように全開する。チョウのさなぎが殻を破り手足を伸ばし、翅を広げていく様とよく似ている。遠くから見ると、木全体に白い鳥が止まっているかのようで、そこだけパッと明かりがついたようだ。一つ二つではなくいっぱい咲いているのがいい。何十何百という花が集まったの初舞台であり今期限りの公演でもある。折しも、白い雲も加わって“白の共演”が実現した。青い空に白い雲、生まれたばかりのハクモクレン、3拍子揃った共演に道行く人も皆立ち止まっていた。

